

岩手県立大学

岩手県立大学卒業生調査

調査報告書

2014.2.27

調査概要	3
回答者プロフィール	4
調査結果のサマリー	6

調査概要

- **調査目的** 本学卒業生の就業実態、及び、本学のキャリア・就職・進路支援に対する評価、基礎力を把握し、今後の施策立案のための基礎資料とする。
- **調査対象** 2008年～2012年の貴学卒業生 3,353名
- **調査方法** インターネット調査
※事前に郵送(ハガキ)にて調査告知・協力依頼をし、Web上で回答を得ている。
- **有効回答数** 293名(有効回収率:8.7%)
- **調査期間** 2013年12月20日(金)～2014年1月19日(日)
- **調査実施機関** 株式会社リアセック

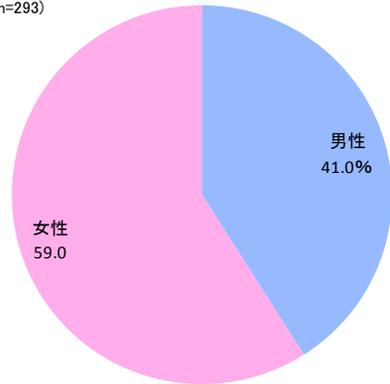


回答者プロフィール

回答者プロフィール

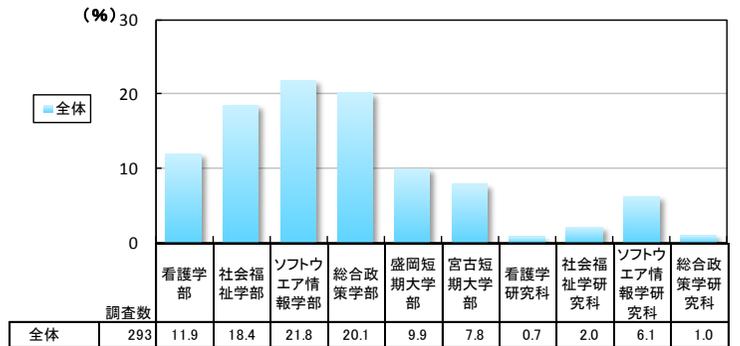
■性別(全体/単一回答)

(n=293)



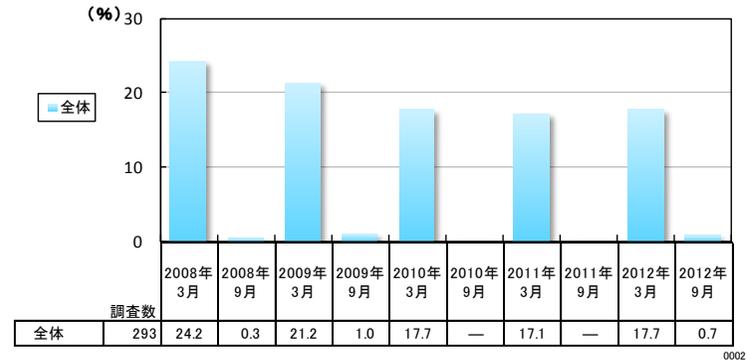
0001

■学部学科(全体/単一回答)



0003

■卒業年(全体/単一回答)



0002

■勤務状況(全体/単一回答)

			現在働いている (%)	卒業後は働いたことがあるが、現在は働いていない (%)	働いたことはない (%)
全体 (n= 293)			91.1	4.8	4.1
性別	男性 (n= 120)		94.2	1.7	4.2
	女性 (n= 173)		89.0	6.9	4.0
学部学科別	学部卒 (n= 212)		93.9	4.7	1.4
	看護学部 (n= 35)		94.3	5.7	—
	社会福祉学部 (n= 54)		96.3	—	3.7
	ソフトウェア情報学部 (n= 64)		95.3	—	4.7
	総合政策学部 (n= 59)		89.8	10.2	—
	短大卒 (n= 52)		76.9	7.7	15.4
	盛岡短期大学部 (n= 29)		82.8	6.9	10.3
	宮古短期大学部 (n= 23)		69.6	8.7	21.7
	院卒 (n= 29)		96.6	—	3.4
	卒業年別	2008年 (n= 72)		93.1	6.9
2009年 (n= 65)			92.3	6.2	1.5
2010年 (n= 52)			96.2	1.9	1.9
2011年 (n= 50)			94.0	4.0	2.0
2012年 (n= 54)			79.6	3.7	16.7

0004



調査結果のサマリー

卒業生の就業実態

1) 就職検討プロセス

★卒業生の4人に3人は希望通りの就職を実現。県内就職者を中心に、勤務地に対するこだわりは強い。

就職先検討時の重視条件は、“勤務地”がトップで、特に、県内就職者の地元就職へのこだわりは強い。“専門性が生かせる仕事”については、全体では4番目で、看護学部、社会福祉学部で相対的に高いのも特徴的であった。

就職先の希望実現度については、**4人に3人が“希望通り”の就職先に就職**しており、看護学部では、7割近くが“第一希望”と回答している。

2) 就職後の評価、転職実態

★多くは希望通りの就職を実現しているものの、入社後の印象は変わった（悪くなった）者が多く、印象が悪くなった者では、4割以上が転職をしている。在学中に、仕事内容や会社について、より具体的な情報提供・イメージ醸成が課題となっていると思われる。～特に、入社後の印象の悪化率、転職経験率の高い短大では留意が必要。

★転職理由は、“労働環境・処遇”、“キャリア形成”などへの不満に加え、“職場での人間関係”が上位。

～転職先検討時にも“勤務地”は最重要要素だが、今までのキャリア・経験を活かせことも必要条件となっている。

就職後の評価については、満足していると回答した者は6割強で、特に、短大卒での満足度が低い。また、看護学部の満足度は相対的にやや低く、希望実現度とのギャップが大きくなっている。

実際に、入社前後で印象が変わらないは半数弱で、**入社後に印象が悪くなったが3割を超えている**（短大卒では半数近い）。

転職経験率は27%で、短大卒では、約半数が転職を経験している。また、**入社後の印象が悪くなった者では、4割以上が転職をしている**。転職経験者の転職回数は、「1回」が約6割だが、女性では、半数近くが複数回の転職を経験している。転職時期については、1年以内に転職している者は3割で、3人に2人が2年以内に転職している（男性、短大卒、岩手県内就職者では、1年以内に転職している者の割合が相対的に多い）。転職理由は、“労働環境・処遇”、“キャリア形成”などへの不満に加え、“職場での人間関係”が上位に挙げられる。また、転職先検討時の重視条件でも、“勤務地”が突出して高いものの、7割が、今までの“キャリア・経験”を活かせる分野の転職先を選んだと回答した。

3)Uターン意向

★県外就職者のUターン意向は高いが、多くは“条件が希望に合えば”であり、特に、“キャリア（活かせる・形成できる）”ことを納得してもらえるかが重要と思われる。

県外勤務者の今後の県内転職意向は、「是非転職したい」は7%で、これに、「条件などが希望に合えば、転職してもよい」（53%）を合わせると6割となっている（男性では7割を超える）。Uターン転職支援においては、転職理由の上位にも挙げられ、キャリア形成意欲が高いことも考慮すれば、今までの“キャリア・経験”を活かし、“キャリアアップ”できることを、如何に納得してもらえるかも重要な要素となると思われる。